

木もれ陽

久留米市大善寺町との サロン交流会



令和7年11月13日（木）に小国町山角下鶴公民館で「ひめますの丘サロン」（小国町黒淵）、福岡県久留米市大善寺町のサロングループ「きんもくせい」と交流会を行いました。ひめますの丘サロンは月2回不定期に開催していますが、きんもくせいは週2回開催しているとの事です。当日は短時間でしたが参加者25名でレクリエーション（ボール落とし、輪投げ、ピンポン等）を通して交流を行い、とても有意義な時間となりました。

－発行・編集－ 社会福祉法人 小国町社会福祉協議会

〒869-2501 小国町大字宮原1530番地2（福祉センター悠ゆう館内）

代 表 TEL 0967 (46) 5575 / FAX 0967 (46) 5615 (共有)

ホームページアドレス <http://www.asoyamabiko.hinokuni-net.jp/oguni/>

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。



ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと心から喜び申し上げます。

旧年中は、多くのご支援いただきましたことに、心より感謝申し上げます

住み慣れた小国町で安心して生活していくためには、住民それぞれが役割を持ちながら互いに支え合い、活躍できる地域づくりが必要であり、関係機関・団体と住民が協働して、地域の福祉課題の解決に取り組むことが大切であると考えます。

本年も、行政をはじめ住民、ボランティア、民生委員・児童委員や福祉推進員、医療・福祉・介護機関や学校、関連する団体との連携のもと、地域福祉の推進を図っていく所存です。

ご支援、ご協力をお願いしますと

もに、皆様にとりまして、この一年が
幸多き年となりますよう心からお祈り
り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



社会福祉法人 小国町社会福祉協議会

会長 佐藤 旨人



75歳以上1人暮らしの方へ

年越しそばを配布！

年末の安否確認事業の一環で、小国町民生委員児童

委員協議会にご協力をいた

だき313名の方に年越し

そばを配布しました。

今回は高齢者が年末年始を安全に過ごす為のチラシも配布しました。



赤い羽根街頭募金

12月21日(日)熊本フレイ

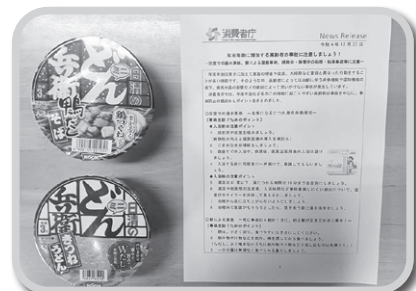
ン小国店で街頭募金活動を行いました。今年もボラン

ティアグループ「子どもに夢を運ぶ会」主催のもと小国

町社会福祉協議会、南小国町社会福祉協議会の三者が

協力して行いました。集まっ

た募金は小国郷の福祉事業に活用させていただきます。



寄附のお知らせ

令和7年
10月24日から 令和7年
12月2日まで

○香典返しとして

宮原殿町 秋吉 慎一様

(故人) 国治 様

宮原新橋 穴井 信貴様

(故人) 智憲 様

下城秋原 宮崎 誠也様

(故人) 悦子 様

黒渕本村 禿 小恵子様

(故人) 行友 様

宮原仁瀬 日野 清美様

(故人) 勝則 様

○一般寄附として

兵庫県赤穂市 花崎 哲也様

覆面ライダー1号・2号 様

(子どもたちへお菓子の寄附)

皆様から頂きました寄附金等

は、小国町の社会福祉事業に有意義に使わせていただきます。

小国町社会福祉協議会

高齡福祉課だより 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様方におかれましては、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より小国町社会福祉協議会の事業運営にご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は史上初の女性総理大臣が誕生し、おおがかりな経済政策も予定され新しい時代の訪れに期待も高まりますが、この小国町にもその経済効果が及ぶことを願っています。

さて、高齡福祉課の状況ですが「養護老人ホーム悠和の里」「有料老人ホームグリーンハートおぐに」は開設6年目を迎え、養護老人ホーム悠和の里においては令和7年5月から「特定施設入所者生活介護」の指定を受けることができ、より充実した介護サービスの提供を目指し頑張っています。

グリーンハートおぐにでは隣接されている悠和の里と一緒にコンサートや敬老会などを行い、入所者様に変化のある生活を楽しんでいただけるように取り組んでいるところです。

「グループホームなごみ」は、令和7年2月より2ユニットから1ユニットになりましたが、小国郷では唯一の認知症対応型共同生活介護を担う施設です。

「介護支援事業所 悠ゆう」では、地域の介護相談窓口、要介護状態の方の相談支援、サービス調整、介護計画等の作成を行い地域の方々の支援に努めているところでございます。

昨年4月に高齡福祉課長を拝命し9か月が経ちました。入所者様やサービスを利用されている皆様の尊厳を大切にしつつ、その人らしく生活できるように職員ともども努力しております。

また、働く職員に対しましては、職場環境改善を行い働きやすい職場、働き続けたい職場づくりを目指しているところです。

本年も高齡福祉課は、地域の皆様の悩みや困りごとなどの相談窓口として信頼していただけるように努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様のご多幸を心からご祈念申し上げまして新年のあいさつとさせていただきます。

高齡福祉課長 有働多津美
職員一同



介護支援事業所 悠ゆう



グループホームなごみ



養護老人ホーム悠和の里



有料老人ホーム グリーンハートおぐに
グリーンハートヘルパーステーション



サポート
センター

悠愛だより

第87号

2026年 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

平成23年4月に発足したサポートセンター悠愛は、15回目の新年を迎えることができました。

さて、引き続き、少人数での旅行・レクリエーションにより、利用者の意向やニーズを反映した多様な余暇支援を実施しました。この結果、令和7年度は、年末までに二泊三日を含む宿泊付き旅行13件、日帰り旅行18件、スポーツ系行事9件、レクリエーション22件、施設内レク4件、誕生会・花見会・焼肉会・納涼会・観月会・忘年会・新年会・クリスマス会・お別れ会など各棟・各グループホーム・各事業所などで多彩な行事・余暇支援が実施されました。

令和7年1月、障がい者支援施設サポートセンター第二悠愛の日中活動を分離して、第二悠愛活動支援センター（定員46名）として単独の生活介護事業所になりました。これは、中長期5か年計画（令和7年～11年）による障がい者支援施設解体のための第一歩になります。また、4月には、認知症対応型グループホーム「なごみ」の1ユニットを改修して、日中サービス支援型グループホーム「昂（すばる）」（定員8名）を開設しました。その他、生活介護、就労継続支援B型・就労継続支援A型の定員増を行いました。

また、小国郷農福連携と6次産業化プロジェクトでは、西里岳の湯地区で传承されている「黒菜」の栽培も開始しました。数名の女性传承者が守り続けている古来種「黒菜」は、地温が高い畑《地獄ざえん（菜園）》でしか育たない特殊な野菜です。世界農業遺産阿蘇の「伝えたい農業遺産資源」に選定されています。農産物直売所「結菱（むすびし）；薬味野菜の里小国」では、店舗の裏手にある「ムスビシ観光農園」で、サツマイモの収穫体験や保育園・小学校との交流も行われました。その他、令和7年度熊本県就労継続支援A型事業所経営改善モデル事業補助金の交付決定を受け、小国野菜を使ったスムージを販売するキッチンカーの導入に向けて準備が進んでいます。

「地域食堂ゆうあい」では、毎月の会食・物品配布に加え、年末ささえ愛物品無料配布が行われました。

今年も、障がい児・者の小国郷での生活と活動によって、地域住民の皆様の理解とご厚情に応えるべく、地域貢献に尽力していきます。障がい者や高齢者の暮らしと活動拠点が、地域の中に分散・拡充していくことで、小国郷の福祉コミュニティーが構築されていきます。小国町社会福祉協議会で働く職員も含めてそれを支える地域住民の皆さんにも、安心と希望の輪が広がることを願っています。最後になりましたが、今年も小国郷に暮らす障がい児・者の皆さんが、より一層輝く共生社会の発展を祈願して、新年のあいさつといたします。



統括施設長 棕野 正信

竹田さん講演

令和7年12月3日、サポートセンター悠愛で施設内設に入所をされている竹田様から「障害を抱えて生きてきた辛さ、福祉サービスを利用したことで、変化した生き方を知る。」をテーマに想いや考え方を当事者立場の視点で、職員への講演をしていただいております。当日は例年を上回る参加者が集まり、初講演の竹田様は緊張しつつも最後までハキハキと熱弁、当事者の一人として歩まれた実体験や障害者が求める支援について深く共有をさせていただき、参加職員の多くの学びとなりました。

(人材育成委員会:橋本 真次)



結菱収穫祭

11月16日に結菱収穫祭が行われました。500円買うごとに1チケットを配り、2枚お持ちいただくと結菱観光農園で芋掘りの体験ができるイベントを企画しました。今回が初めてでしたが非常に多くの方に参加していただきました。県外からも多数参加され「60歳代で初めて芋掘りしました!とてもいい経験をさせていただきました」と話された方や「楽しすぎてもう一度来ました!」などの声をいただき、子供から大人まで楽しまれ大盛況でした。

(辛嶋 昭盛)



くればす親子活動

令和7年11月29日(土)

旧北里小学校体育館にて、くればす親子活動が行われました。

当日は「にじいろ」と「放デイ」に在籍するくればす利用児のご家族を含めて50人ほどが参加し、ミニ運動会・おまつりごっこを中心に職員と子どもと保護者が三位一体となって交流を深める場になりました。

こどもの開会宣言から「エビカニクス体操」でカニの爪を装着して、心と体を温めてから運動会のスタート。

緊張気味の子どもたちも最初の種目である「バランスボール鬼ごっこ」では大玉に当たらないように体育館内を制限時間内、必死に逃げきって笑顔で喜ぶ子どもたちの姿がありました。

続いて「手を繋いでジャンプゲーム」では家族同士が手を繋いで一緒に前後左右にジャンプして失敗しても、くよくよすることなく笑顔で取り組む雰囲気がありました。

「綱引き」では親子がタッグを組んで力いっぱい綱を引っ張り、勝っても負けても清々しい充実感にあふれた表情がありました。

最後の種目の「おおたまころがしリレー」では、大きいバランスボールに悪戦苦闘しながらも、両手を上手く使いながら八の字を描いて次の人にタッチをしてチーム競技を楽しみ、「頑張ったで賞」のメダル授与でミニ運動会は終了。

お弁当タイムでは緊張気味の各家族がマイクを持って家族紹介。恥ずかしさに負けず堂々と紹介できる子もいれば、小声で保護者にサポートしてもらいながらも立派に家族紹介をして笑顔あふれる雰囲気で時間が過ぎました。

昼食後は待ちに待ったおまつりごっこ。射的・魚釣り・輪投げで自分の好きなお菓子をゲットして大喜び。約束を守ってそれぞれのお店に並んで順番待ちで期待を膨らましている姿もありました。お菓子を食べ終えて最後は「ありがとうのはな」をみんなで手を取り合いながら、手話も交えて穏やかな気持ちになりフィニッシュ。出口では恐竜に見送られて笑顔で岐路に着く子どもたちに、ほっと一息した一日になりました。(西田 雄吉)



令和7年度 熊本県知的障がい者施設協会 福祉大会への参加

12月3日、熊本県立劇場で行われた令和7年度 熊本県知的障がい者施設協会 福祉大会へ悠工房より5名の利用者が参加しました。アート作品展へ毎年悠工房から数名の方が応募しており、その中で「アンダー・ザ・シー」が協会銀賞に選ばれたので、代表で山田由美子さんが式典で表彰を受けました。

壇上へ上がると緊張し顔が強張っていましたが、表彰状を受け取ると笑顔で嬉しそうにされていました。

式典後はサーカス等の催し物があり、皆さん大会を楽しまれていました。

また来年も賞が取れるように、金賞受賞を目標に創作活動へ取り組めたらと思います。

(時松 寿幸)



来未寮 みんなの勉強会

令和7年12月3日(水)にみんなの勉強会が開かれました。宇都宮栄養士を講師に迎え、「食事について」教えて頂きました。改めて食事には、自分たちの身体を作ってくれる大切な栄養素が入っている事を教えてもらいました。児童の講師が話している内容を真剣に聞いている姿、質問や発言をたくさんされる姿が見られました。最後に好きな食べ物を聞く時間を作るとそれぞれ好きな食べ物を発言しており、食事を楽しみにしている事を感じました。今回の勉強会で改めて食事をする大切さを知る事が出来たと思います。今後も学びになる勉強会を開いて行きたいと思えます。

(時松 奈布)



10月31日 ハロウィーン

第一悠愛来未寮で毎年恒例のハロウィーンの飾りつけを行い、入所児童に季節感を味わってもらいました。今年は小さな飾りつけを多く作りホール全体に飾りました。職員と数人の児童で「どこに飾りつけをしようか?」又「高さをどのくらいにしようか」と試行錯誤をしながら壁面飾りつけが出来ました。(井料 達也)



12月度 にこりほっと 優秀賞

タイトル：MOST

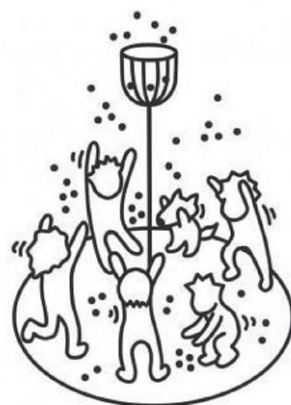
利用者：蔵本清香様

日時：令和7年10月29日 報告者：井 尚子

《内容》毎月最終水曜日に市原小学校体育館にて行われるMOST(南小国町スポーツーナメント)。

今回はアジャタという5分間で各チームタイムを競う玉入れです。清香さん2回目のアジャタでしたが、前はあまり要領がわからなかったようで、今回は初めから気分が乗らず、見学していました。今回はこのまま参加せずに終わっていると思っていると、最後の回に参加してくれました。

「わたしゃ、出来んばい・・・」「はいらーん！」とブツブツいいながらも玉を投げる清香さんににこりほっとしました。



編集後記

「広がる冬の景色を眺めながら、この記事を書きました。静かな時間の中で、読者の皆さんと文章を通してつながれることに感謝しています。温かい飲み物を片手に、新年の幕開けをゆっくりとお過ごしください。」

(春山琢哉)



令和8年1月～令和8年3月の予定

1. 心配ごと相談所

開設日			開設時間	会場
1月	9日	金	午前10時から 午前12時	おぐに町民 センター2階
2月	6日	金		
3月	6日	金		

2. 配食サービス

毎週2回(火曜・金曜)実施



3. ふれあいサロン(つどいの広場)

地区	名称	会場	日程	時間
宮原	宮原3部 サロン	町民センター	1月19日(月) 1月26日(月)	13:30 ～ 15:30
			2月9日(月) 2月16日(月)	
			3月2日(月) 3月16日(月)	
	宮4.9 サロン	柏田集会所	1月14日(水) 1月28日(水)	10:00 ～ 12:00
			2月11日(水) 2月25日(水)	
			3月11日(水) 3月25日(水)	
上田	上田1部 サロン	上田多目的 集会所	1月14日(水) 1月28日(水)	13:30 ～ 15:30
			2月11日(水) 2月25日(水)	
			3月11日(水) 3月25日(水)	
北里	北里2部 サロン	ふれあい 会館	1月15日(木)	10:00 ～ 12:00
			2月19日(木)	
			3月19日(木)	

地区	名称	会場	日程	時間
西里	西里1部 サロン	ゆけむりの館	1月13日(火)	13:30 ～ 15:30
			2月10日(火)	
			3月10日(火)	
西里	西里3部 サロン	下明里 公民館	1月22日(木)	13:30 ～ 15:30
			2月26日(木)	
			3月26日(木)	
弓田	弓田 サロン	弓田公民館	1月27日(火)	13:30 ～ 15:30
			2月24日(火)	
			3月24日(火)	
下城	杖立 サロン	観光協会の 前の集会所	1月13日(火) 1月27日(火)	10:00 ～ 12:00
			2月10日(火) 2月24日(火)	
			3月10日(火) 3月24日(火)	
黒瀨	黒4.6部 サロン	蓬萊団地 公民館	1月5日,15日,25日	13:30 ～ 15:30
			2月5日,15日,25日	
			3月5日,15日,25日	
	黒1部 サロン	神原西 公民館	1月15日(木)	13:30 ～ 15:30
			2月2日(月) 2月16日(月)	
			3月2日(月) 3月16日(月)	
	黒2.3部 サロン	山角下鶴 公民館	1月9日(金) 1月23日(金)	13:30 ～ 15:30
			2月13日(金) 2月27日(金)	
			3月13日(金) 3月27日(金)	

※開催日は、天候や地域の行事等で、急遽変更される場合もあります。

社会福祉協議会について

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした社会福祉法人です。昭和26年に制定された社会福祉事業法に基づき、各市町村に設置されました。

地域に暮らすみなさまのほか、民生委員、児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者や保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住み慣れた町で、安心して生活することのできる「福祉のまち」の実現を目指しています。例えば、各種の福祉サービスや介護サービスの提供、相談窓口、ボランティア活動の支援、共同募金運動への協力、小中高校における福祉教育の支援など様々な福祉活動を展開しています。

住民の皆様の多様な福祉ニーズに応えるため、社会福祉協議会では、地域の福祉活動の拠点を目指して活動しています。